電波新聞　2022年(令和4年)11月18日

デンキョーグループHD

都内で23年春夏の商談会

生活雑貨品など家電以外も紹介　相乗効果狙う提案も

デンキョーグループホールディングス（HD）のグループ3社は16、17日、来年の春夏に向けた商談会「デンキョーグループ2023ニューライフ商談会」を東京都立産業貿易センター浜松館（東京都港区）で開催した。生活雑貨など家電以外の商品も併せて提案することで、相乗効果が生まれるような展示を狙った。

商談会はグループ会社である電響社、大和無線電器、梶原産業の3社が共催。家電に加え、日用品など約100社の商品を展示。2日間で140社・450人ほどの来場を目指して、会場で活発な提案活動を行った。

今回、初出展の企業も多数あり、2階と3階の2フロアを使い、新商品を提案。2階の受付近くにあるのが自社ブランド「ZEPEAL（ゼピール）」と「macaful（マカフル）」だ。

マカフルは、煮る・蒸す・炒める調理ができる「テーブルクックポット」を来年1月に発売予定。鍋の中に付属品などを収納できるコンパクトさも魅力の一つだ。

ゼピールは、収納にこだわった扇風機を来年4月に発売予定。従来製品に比べて機能をシンプルにして、購入しやすい価格を実現する。

今回、新たにゲーミング分野への参入も検討。累計台数が30万台を超えるデスクスタンドシリーズの一つとして、ゲーミング用照明スタンドを開発した。音声に合わせて光り方が変化するなど、ゲーム中の雰囲気を盛り上げる演出機能が付いた商品として提案する考えだ。デンキョーグループHDの商品本部商品企画開発チームの古市和雅係長は「商談会で反響を見ながら商品化にも前向きに取り組みたい」と話す。

アピックスインターナショナルは、洗えるサーキュレーターを来年4月に発売するほか、今年発売から5周年を迎えるしずく型加湿器についても改めて訴求した。

にぎわいを見せる「デンキョーグループ2023ニューライフ商談会」の初日

家電と生活用品をミックスした展示で購買意欲を高める展示も

ソーダスパークルのブースではIDOL HOUSEの有須心咲さん（左）と神谷玲奈さんも登場

今年5月の商談会から参加しているサンノートは、文房具を中心に展示し、デンキョーグループHDの一員として、販路の相互活用を目指していく。

企画コーナー「HEROS（ヒーローズ）」も展開。「ウルトラファインバブル」を提供するサイエンスや、呼吸力を鍛える器具「長息生活」のルピナス、アイトスが出展した。

ほかにも多彩なメーカーが新商品を展示。マクセルは、シェーバーブランド「IZUMI（イズミ）」から洗浄機付きの4枚刃シェーバーの新商品をアピールした。炭酸水メーカーのソーダスパークルのブースでは、炭酸水を持ち運べる水筒も紹介し、外出先でも手軽に炭酸水を楽しめる提案を行った。

デンキョーグループHDとしての取り組みも紹介した。同社は営業支援システム「DG－Cシステム」を来年4月をめどに導入予定。営業経験が浅い社員をサポートし、提案力の向上につなげる狙いだ。古市係長は「年々業績は上がっているが、さらに高みを目指す」とし、新システムの導入で情報共有をさらに加速させる考えを示した。